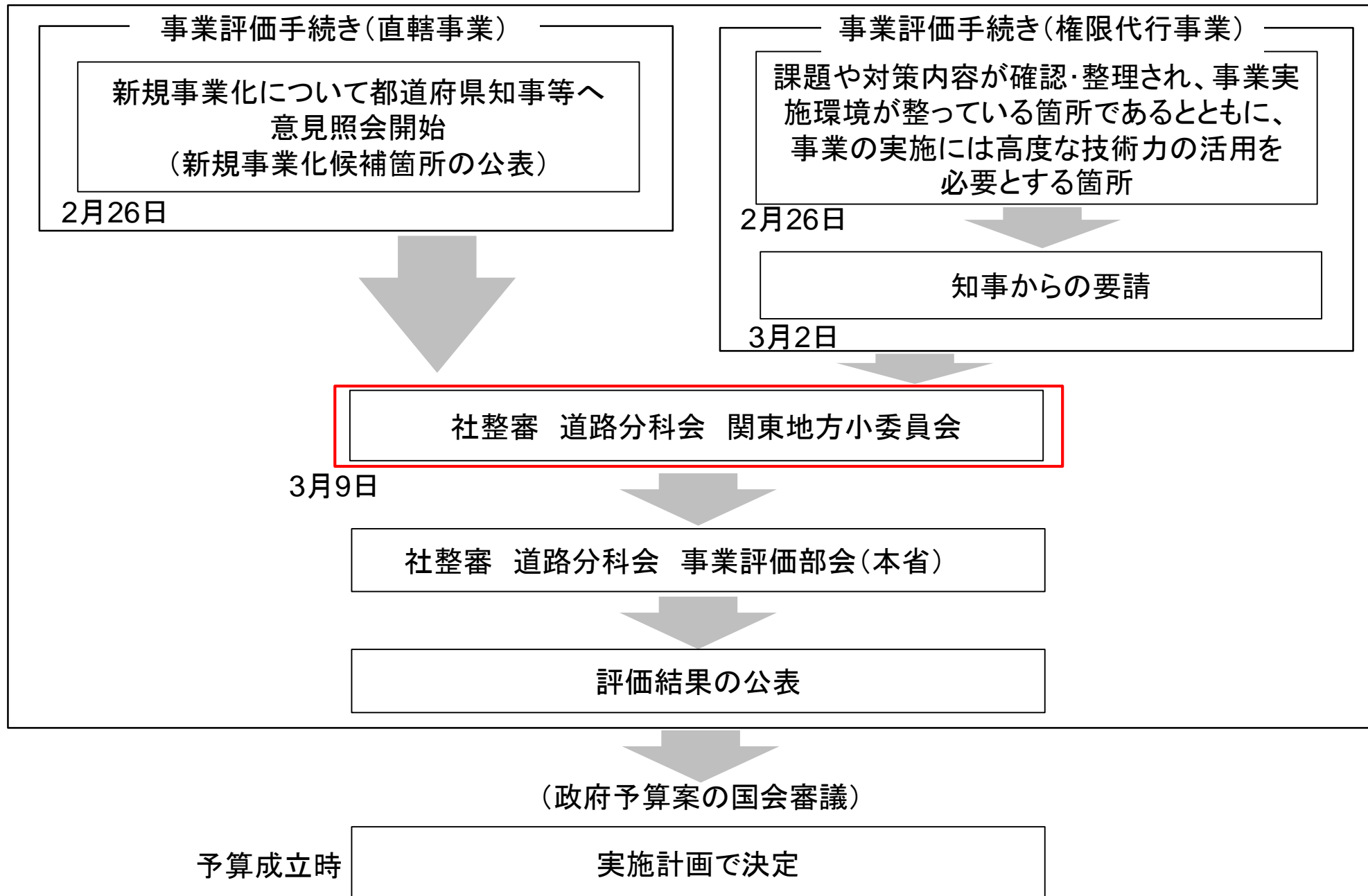


新規事業候補箇所の選定の考え方

◆新規事業採択時評価の流れ(予定)



◆新規事業化候補箇所の選定の考え方(直轄国道)

1. 関東の直轄国道全線(約2,403km) 【2,060区間】
 ○H27一般交通量調査区間毎に分割



2. 課題箇所の抽出 指標のいずれかに該当 【1,551区間】

○指標

- ①社会経済：主要渋滞箇所が確認されている区間
- ②交通安全：事故危険区間が確認されている区間
- ③防災：要防災対策箇所及び津波浸水想定区域に該当する区間
- ④まちづくり：公的な面整備と一体的な整備が必要な区間



3. 課題解消に向けた改築事業を未実施の区間 【178区間(46箇所)】



4. 調査の熟度を確認 【85区間(27箇所)】
 ⇒上記区間のうち、都市計画決定等により詳細なルート・構造が確定したものを抽出



5. 当該区間の混雑の状況及び
 周辺ネットワークの整備状況を確認 【2区間(1箇所)】
 ⇒渋滞の深刻度その他、周辺道路環境等から次に着手すべき箇所を抽出



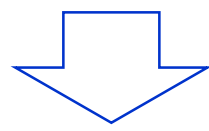
R3新規事業候補箇所の選定結果
 ・一般国道6号 酒門町交差点立体

課題	指標		判定	
① 社会経済	渋滞箇所	主要渋滞箇所 が確認される 区間	主要渋滞箇所 に該当	主要渋滞箇所
② 交通安全	事故危険 区間	事故危険区間 が確認される 区間	事故危険区間 に該当	地域の委員会 等で特定され た区間
③ 防災	要防災対 策箇所	要防災対策箇 所に該当する 区間	要防災対策箇 所に該当	要防災対策箇 所データ
	津波浸水 想定区域	津波浸水想定 区域に該当す る区間	津波浸水想定 区域に該当	各自自治体ハ ザードマップ
④ まちづくり	公的な面 整備箇所	公的な面整備 と一体的な整 備が必要な区 間	各自自治体等 の開発計画に該 当	各自自治体等 の開発計画

◆新規事業化候補箇所の選定の考え方(権限代行)

【権限代行事業】

◆課題や対策箇所が確認・整理され、事業実施環境が整っている箇所であるとともに、事業実施には高度な技術力の活用を必要とする箇所



◆知事からの要請があり、令和3年度新規事業箇所としてお諮りしたい箇所。

・一般国道464号 北千葉道路（市川・松戸）

路線名	区間	都道府県名	延長	事業実施環境
一般国道464号	北千葉道路 (市川・松戸)	千葉県	3.5km	・都市計画手続き(R3.1決定) ・都市環境評価手続き(R3.1完了) ・直轄による権限代行実施の検討を行うための調査(R3.2完了)

◆ 関東ブロックにおける新規事業化候補箇所

